

気候情報

2012年1月の日本の天候

- 北日本から西日本にかけて低温
- 日本海側を中心に大雪となった所があった
- 沖縄・奄美は日照時間が少なかった

1月の天気概況

優勢なシベリア高気圧の影響で冬型の気圧配置が強くなり、日本付近に強い寒気が流れ込んだ影響で、月平均気温は北日本から西日本にかけて低くなった。北日本から西日本にかけての日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、山地では3mを超える積雪となった所があった。また、北日本日本海側では上旬末から中旬中頃にかけて、北日本から西日本にかけての日本海側では下旬中頃から月末にかけて、非常に強い寒気が流れ込んだ影響で、所々で降雪量が多くなった。北日本から西日本にかけての太平洋側では、晴れの日が多かったが、冬型の気圧配置が一時的に緩んだ中旬中頃から下旬初めにかけては、日本の南海上を通過した低気圧の影響で雨や雪が降り、大雪となった所があった。

沖縄・奄美では、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、月間日照時間はかなり少なかった。

上旬：冬型の気圧配置が強くなり、東・西日本を中心に強い寒気が流入したため、北日本から西日本にかけての日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、期間の中頃に大雪となった所があった。一方、北日本から西日本にかけての太平洋側では晴れの日が多かった。沖縄・奄美では、大陸からの寒気の影響で曇りや雨の日が多く、1月上旬としては1961年以降で日照時間が最も少なかった。

中旬：月中旬まで冬型の気圧配置が強かったが、その後は冬型の気圧配置が緩み、日本の南海上を低気圧や前線が通過した。北日本から西日本にかけての日本海側では、曇りや雪または雨の日が多く、中旬頃までは北日本日本海側を中心に降雪量が多かったが、旬末は晴れた所が多かった。北日本から西日本にかけての太平洋側では晴れの日が続いたが、東・西日本太平洋側では、中旬頃過ぎから曇りや雨の日が多く、雪の降った所もあった。沖縄・奄美では、気圧の谷や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多かった。

下旬：旬初めは冬型の気圧配置が緩み、日本の南海上を低気圧が通過したが、中旬頃から冬型の気圧配置が強まり非常に強い寒気が流れ込んだ。北日本から西日本にかけての日本海側では、曇りや雪または雨の日が多く、特に中旬頃からは大雪となった所があった。北日本から西日本にかけての太平洋側では晴れの日が

多かったが、旬初めは曇りや雨または雪が降り、大雪となった所があった。沖縄・奄美では、大陸から張り出す高気圧や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。

1月の気候統計

月平均気温：北日本から西日本にかけて低く、北日本では平年を1℃以上下回った。沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：北日本、西日本日本海側で少なく、東日本、西日本太平洋側、沖縄・奄美で平年並だった。

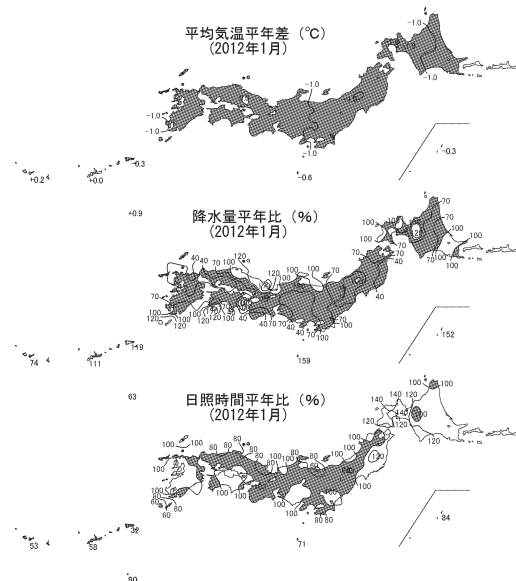
月間日照時間：沖縄・奄美でかなり少なく、東日本で少なかった。一方、北日本太平洋側ではかなり多く、北日本日本海側で多かった。西日本では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

1月の記録(1位更新のみ)

- 月降水量多い方から (mm)
舞鶴 339.0
- 月降水量少ない方から (mm)
八戸 4.5
- 月間日照時間多い方から (時間)
広尾 206.3
- 月間日照時間少ない方から (時間)
名瀬 19.5 沖永良部 35.2 名護 57.8
- 月最深積雪大きい方から (cm)
岩見沢 194

2012年1月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。